

夏を彩る “涼感商品”

ボトルから注ぐ音色やガラスびんの冷たさなど、五感を通じて涼を感じることができるのはガラスびんならではの魅力です。今年の夏は節電対応もあり、様々な工夫をして暑さをしのぎたいところです。

深い青色のボトルのスパークリング清酒は、水流を表現した色と形で涼しげな印象です。

小容量のかわいらしい泡盛は、中身を海の色に染め、爽やかな沖縄の夏を感じさせます。

サイダー、ゼリーはしっかりと冷やし、冷たさをてのひらと口当たりで感じたい一品です。

見て、触れて、味わって、ガラスびんの涼しげな魅力を再認識する夏になりそうです。



●招徳酒造 『夏の戯れ』 240 ml

●久米仙酒造 『泡盛 沖縄海の色』 180mlセット

●モロゾフ 『Fruits of Fruits』 90g

●トンボ飲料 『ラボンサイダー』 240ml

●宝酒造 『白壁蔵・霽』 300 ml

NEW!

泡もの専門スタンディングバー『awabar』

シュワッと爽快なひととき。おいしくって、リーズナブルな泡ものを発信

Check!



<http://awabar.jp/>

六本木4丁目、東京ミッドタウンのそば。『泡もの』を専門に扱う立ち飲みバー『awabar』に注目。ドリンクメニューには、スパマンテ、シャンパンをメインに、ベルギービールやカクテル、日本酒スパークリングと、その名のおり『泡もの』がずらりと揃います。

スパマンテ(Spumante)

スパマンテとはイタリア語で「発泡性」という意味で、スパークリングワインやシャンパンをイタリアでは主に「スパマンテ」と呼びます。

女性ひとりでも入りやすいように配慮された店内は、自然素材を使用した北欧風のぬくもりある空間。インテリアにはおしゃれなシャンパンボトルが飾られ、上質なひとときが過ごせます。軽快な飲み口の泡ものドリンクは、メインディナーの前や、なんだか飲み足りない…といった時にはぴったり。夏の暑い夜に、キリッと冷えたスパマンテを楽しみながら爽快に過ごすのも、この夏オススメのスタイルです。

《GeshiFes 2011》 でんきを消して スローな夜を。

Bottle scene

東京・代々木公園 100万人のキャンドルナイト

毎年、夏至と冬至の日を中心とする数日間、'でんきを消してスローな夜を'の呼びかけの下、全国各地で「100万人のキャンドルナイト」が催されています。今年の夏至は6月22日。私たちも東京・代々木公園《GeshiFes 2011》でのキャンドルナイトに参加しました。長年、当社一般びん「T150」を採用いただいているカメヤマ社のガラスびん入りキャンドルや、広口びんにろうそくを灯し、幻想的に揺らめく炎で静かなひと時を過ごしました。

<http://geshifes.cultivaders.com/>

●カメヤマ ガラスびん入りキャンドル 『ボンエ』



会場内イベント風景 ▲

▼ 特設ステージ風景

▼ ガラスびんのキャンドル

キャンドルナイト (Candle night) とは…

照明を消し、キャンドルを灯して過ごそうという運動。第1回「100万人のキャンドルナイト」は2003年の夏至の日に始まりました。小さな呼びかけの和は日本中に広がり、毎年多くの個人や企業・団体が参加しています。

<http://www.candle-night.org/jp/>



Turn off the light, take it slow.

